

各位

公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会

第 6 2 回理事会の内容につき、下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 開催日時 2025 年 3 月 5 日（水）
午後 1 時 00 分～午後 2 時 30 分

1. 開催方法 オンライン

1. 理事総数 29 名
出席理事数 27 名

<出席理事の氏名>

池田弘	浅倉俊一	井川幸広	今村篤	宇尾野隆
大塚雅一	大山健太郎	小野兼資	神山治貴	久礼亮一
小砂憲一	小松範行	佐々木茂喜	塩井保彦	清水栄一
下村朱美	庄司正英	南場智子	貫正義	日比野三吉彦
平沼大二郎	三木康弘	吉井信隆	吉原直樹	林書緯
若林順平	荒木匠			

1. 監事総数 2 名
出席監事数 1 名

<出席監事の氏名>

梅田常和

冒頭、池田会長より開会の挨拶があった。
引き続き荒木専務理事より、現理事総数 29 名の内、本人出席が 27 名なので理事会成立の要件である過半数 15 名を上回っており、本会は適法に成立している旨報告があった後、審議に入った。

1. 決議事項

第1号議案 2023年度「JNB会費規定」変更の件

荒木専務理事より、資料①に基づき、本件は昨年11月7日に新潟で開催した「全国会長会議」で、今後のJNBの事務局体制の再構築と全国会員管理システムの整備を目的に会費の値上げをお願いしたい旨説明し議論していただいたが、11月の会議以降、特に各協議会の会長や事務局からの反対意見はなかったとの説明があった。

なお、資料①の「JNB会費規定」の第1条2項の団体を構成する正会員の年会費をこれまでの1,000円から2,000円に値上げをお願いし、本議案が決議された場合は、2025年度の年会費請求より適用させていただきたいとの説明があった。審議に入り、全員異議なく原案通り承認可決した。

第2号議案 周年記念開催の件

荒木専務理事より、資料②に基づき、1985年にJNBと東京NBCの前身となる「ニュービジネス協議会」が設立され、2025年度で40周年、また、2005年に社団法人として日本ニュービジネス協議会連合会が設立され、2025年度で20周年となるが、10年前の2015年に、JNB10周年・東京NBC30周年と題し「第11回JNB新事業創出全国フォーラム in 東京」を周年記念として開催し、当日は高円宮妃殿下にご臨席をいただいたが、今回も宮内庁に高円宮妃殿下のご臨席をお願いしたいと考えている。また、本件を踏まえ、会場を「ホテルニューオータニ東京」、もしくは「ホテルオークラ東京」に設定し、事前に見積をお願いしたところ、参加者400名想定で、ホテルニューオータニ東京は8,539,300円、ホテルオークラ東京は10,622,425円で打診があった。併せて今回の周年記念は賀詞交歓会と併用開催としたいと考えており、参考まで先々月1月17日にANAインターコンチネンタルホテルで開催したJNBと東京NBC共催の「賀詞交歓会」の経費総額は4,027,538円との説明があった。以上を踏まえ、まずは、本イベントの共催予定のJNB副会長・東京NBCの井川会長より、本イベントに関する見解についてのコメントがあった。

改めて周年記念の開催について、費用面を踏まえ、「ホテルニューオータニ」を会場とした場合の概算は、会場費が8,539,300円、演出・招待状・司会等の諸経費に50万円、合計900万円を最低ラインとして想定しており、本件の予算として、JNBと東京NBCでそれぞれ450万円を拠出し、イベントを開催したい旨の説明があった。

また、今回は周年記念ということもあり、会員企業はもちろん、政財界を含め、参加者が想定の400名を超える可能性もあり、その分の懇親会の飲食費などが上乘せになる可能性もあり、本イベントに対しJNB理事と併せ、非理事の全国のNBC会長に一口10万円で協賛をお願いしたい旨の説明があった。

審議に入り、全員異議なく原案通り承認可決した。

第3号議案 2025年度 事業計画（案）・収支予算（案）の件

荒木専務理事より、資料③-1に基づき2024年度の着地見込みと公益法人の財務三原則についての説明、資料③-2の2025年度の実業計画案と資料③-3の2024年度の収支見込、資料③-4の2025年度の実業予算案について説明があった。

審議に入り、全員異議なく原案通り承認可決した。

第4号議案 政策提言「政策提言 働き方改革に関する提言」の件

荒木専務理事より、資料④に基づき、本件は昨年11月の新潟での全国会長会議で、北海道ニュービジネス協議会の小砂会長から、「働き方改革について」のご意見があり、本理事会に向け、北海道ニュービジネス協議会より、具体的な提言が提出されたので、JNB政策委員会で内容を精査し上程する運びとなったとの説明があった。

その後、本提言について、JNB副会長・北海道ニュースの小砂会長より説明があり、併せてJNB政策委員会の長谷川委員長が欠席されているため、委員のJNB黒田特別参与より、委員会としてのコメントがあった。

審議に入り、全員異議なく原案通り承認可決した。

第5号議案 2024年度 JNB新規会員承認の件

荒木専務理事より、資料⑤-1に基づき説明があり、併せて資料⑤-2に基づき会員数の進捗状況についての説明があった。

審議に入り、全員異議なく原案通り承認可決した。

第6号議案 その他

荒木専務理事より、他に決議事項はない旨の説明があり、議長は報告事項に移る旨、説明した。

1. 報告事項

1) 第20回 JNB新事業創出全国フォーラム in 新潟について

荒木専務理事より、「第20回 JNB新事業創出全国フォーラム in 新潟」の「事業報告書に基づき説明があり、主幹協議会のJNB理事・新潟ニュービジネス協議会の宇尾野会長より報告があった。また、2025年度開催の「第21回 JNB新事業創出全国フォーラム in 九州」の主幹協議会のJNB副会長・九州ニュービジネス協議会の貫会長より、進捗についての報告があり、了承された。

2) 『大阪・関西万博についてのご提案』について、

荒木専務理事より、別添資料に基づき、2025年4月13日(日)～10月13日(月)の184日間にわたって、大阪府の夢洲(ゆめしま)で「2025年大阪・関西万博」が開催されるが、開催期間の中の、10月10日午後から、関西ニュービジネス協議会で、毎年開催している高校生・社会人のアントレプレアのプレゼンイベントの開催が決定しているが、併せて、全国のニュービジネス協議会向け、イベントやブース出展のご提案があるとのことで、関西ニュービジネス協議会の小松会長よりご提案があり、了承された。

3) 代表理事、業務執行理事の業務報告について

資料⑥に基づき、冒頭代表理事から業務報告があり、その後荒木専務理事より報告があり、了承された。

4) 2025年度JNB年間スケジュールについて

荒木専務理事より、資料⑦に基づき説明があり、了承された。

以上をもって第62回理事会の議案決議及び報告等は終了し、議長は閉会を宣言した。

※詳細に関しましては、事務局にて「議事録」が備え付けられています。